

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 東亜建設コンサルタント

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		経営者は、会社のあるべき姿を説明・共有している 目標の実現に向け新しい技術事業に挑戦している									8	9															17											
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		コンプライアンス研修を実施し、啓発している																								16												
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		不正競争行為の禁止を含む規範を整備している														10										16												
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		責任者(担当者・取締役)の任命及び企業の中で社会や環境に与える影響を周知している																								16												
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		インターネットから画像を借用しない(著作権)等の勉強会の実施している										8.2	8.3	9																								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		情報管理責任者による情報セキュリティ体制を構築している																								16												
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		社外からの意見を社内共有し、双方向コミュニケーションの更なる向上へ取り組んでいる																						16	17													
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●													5				8								10	12	13	14	15	16	17							
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		令和4年6月にBCPを策定した訓練を実施(年1回)している																							9			11		13.1				16	17			
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		後継者の指導・育成に取り組んでいる 新人研修会・勉強会等を計画・実施している																								8	9									17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2																													12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		ハラスメント相談窓口の設置及び周知している ポスターの掲示を行っている				4.3	5.1					8.5					10.2											16.1						16.2	16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		安全大会の実施・KY活動・アルコールチェックを行っている 時間外の周知、声かけを行っている 心の声(メンタルヘルス)ポスターを掲示している							3																													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員の雇用形態にかかわらず、公平な待遇・対応を行っている																																				
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		残業時間の管理、有休の取得など休みやすい環境を整備している																																				
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		資格取得の助成実施・社内で資格取得の為の教育を行っている 分からない所は気軽に質問できるような環境を整備している 教育訓練の外部研修会を受講している																																				
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		健康診断の経費を助成している 病院を受診しやすい環境(有休や時間休を取りやすいなど)を整備している 定期的にメンタルヘルス・ストレス指数の資料を配付し、各自ストレスチェックを行っている																																		17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		従業員の昇進・昇格において人種・性別など関係なく、公平な待遇・対応を行っている																																				
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議を導入している。	●		在宅勤務(テレワーク)・時差出勤を導入している Web会議を行っている 定期的な室内の換気と消毒作業・エアドッグ(空気清浄機)の設置している																																				
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		ドローンなど活用することにより、業務の効率化・生産性の向上を図っている																																				
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		2022年プライト企業の認定を受けている																																				

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 東亜建設コンサルタント

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		業務作業過程で出た産業廃棄物等は、専門業者に発注し、適切な処理を行っている			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		Excelを用いてエネルギー使用量を算出している 蛍光灯をLEDに変更等、使用量の削減に尽力している							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		Excelを用いてCO2排出量を算出している 古い公用車をハイブリッド車など燃費の良い車へ変更している		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		事業所及び従業員のエコバッグの活用、レジ袋の削減に取り組んでいる レジ袋の再利用を行っている						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		再生用紙の利用及び、裏紙の再利用を行っている リサイクル業者へ古紙を持ち込み、リサイクルへ取り組んでいる									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水源涵養機能を維持するために、年に1回程度の植樹活動に参加している。 水道の元栓を調節し、水の出し過ぎを防いでいる		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		ドッジファイルなど環境仕様の製品(エコマーク認定品)を購入し使用している										9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		社内でお弁当を注文する際、小盛りを選択できるお店を選択・利用している 頂き物など消費できない量の場合、従業員内で配布し、食品ロス削減に取り組んでいる	1	2					6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		オフィスの壁面緑化や植栽へ取り組んでいる												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		植樹会・草刈りへ参加(年1回)参加している						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		通勤時において自転車やバスを利用している										9.4		11.2			13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 東亜建設コンサルタント

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																													
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17													
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		提供する成果品やサービスの品質・安全を確保する仕組みを構築している 社外からの意見を社内共有している 改善点を洗い出し、PCDAに取り組んでいる			3.9								9							12.4												
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		コンサル業務におけるユニバーサルデザインに配慮した工法・使用する材料等を検討し、環境整備に取り組んでいる 自社のHPや報告書等にユニバーサルデザインフォントを使用し誰もが 見やすく、使いやすくなるように工夫している											9.1	10	11.7																	17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15													17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7							12.2	13.1		15													
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17												
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15												17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		従業員に対し、居住する地域の活動に参画するように推奨し、時間単位の有給など参加しやすい職場環境を整えている 健康川清掃のボランティア活動に参加している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17													
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		事業所に防災備蓄や防災グッズの常備している ハザードマップの周知・掲示を行っている				4								11.5		13.1															16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1													16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1																
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17												
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	大学生のインターンシップを積極的に受け入れている (R4年度現在:4名の受け入れ) 毎年、高校生向けガイダンスの参加をしている				4					8.6		10.2																		17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	地元の生徒、学生を積極的に雇用を受けている ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート制度を活用している (2023年度・2024年度就職者対象)					4.4				8.5 8.6																				17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15													17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。